

# 静岡放射能汚染測定室だより

2011年7月創刊号



物語はじまる

## 目次

- |                       |        |                     |        |
|-----------------------|--------|---------------------|--------|
| ■ 測定結果報告              | ・・・1   |                     |        |
| ■ 測定についての補足           | ・・・2   | ■ 「10万年後の安全」上映会     |        |
| ■ 全国の食品放射能検査の結果       | ・・・2   | &アフタートークの報告         | ・・・7-8 |
| ■ 測定開始から1か月           | ・・・2   | ■ 心と心が通う場～測定室での出来事～ | ・・・9   |
| ■ 放射能測定について、質問にお答えします | ・・・3-4 | ■ 測定室活動日誌           | ・・・10  |
| ■ 静岡放射能汚染測定室のガイドライン   | ・・・5-6 | ■ お知らせ              | ・・・11  |
| ■ 放射能情報・ミニメモ帳         | ・・・6   | ■ プラムフィールドの窓 測定室の風  | ・・・11  |

編集・発行：静岡放射能汚染測定室 事務局

〒420-0882 静岡市葵区安東 1-2-3 プラムフィールド内  
TEL/FAX : 054-209-2021 (月～金 10:00～16:00)  
測定室 Ph : 070-5034-0920 (月～金 9:00～17:00)  
e-Mail : ssokuteisitu@yahoo.co.jp  
URL : <http://plumfield9905.jp/07/074/074.php>

会員頒布用

創刊号価格 1部 500円

# 測定結果報告 2011年6月11日～7月10日



## 静岡放射能汚染測定室調べ

測定値の単位はベクレル/kg

測定値 測定 測定時 検体重  
合計 開始日 間(秒) 量(g)

	産地	食品名	Cs134	Cs137	測定値 合計	測定 開始日	測定時 間(秒)	検体重 量(g)
*1	静岡県御前崎市	製茶(新茶・摘前散水無)	266.0	305.0	571.0	6/10	70000	103
*2	静岡県御前崎市	製茶(新茶・摘前散水有)	68.0	84.0	152.0	6/20	Ge検出	212
	静岡県	納豆(静岡県産大豆使用)	不検出	不検出	不検出	6/16	70000	472
*4	静岡県藤枝市	製茶(H23年度産)	140.0	170.0	310.0	6/20	Ge検出	212
	静岡県静岡市葵区藁科	荒茶	186.0	190.0	376.0	6/21	90000	321
	静岡県静岡市葵区新聞	いちご	不検出	不検出	不検出	6/21	77783	494
*5	静岡県袋井市	牛乳	不検出	不検出	不検出	6/22	79645	536
	静岡県下田市・南伊豆町	原藻ひじき(H23年度産)	不検出	不検出	不検出	6/22	75469	116
	静岡県下田市・南伊豆町	ひじき(H23年度産)	不検出	不検出	不検出	6/24	90000	108
	静岡県藤枝市	紅茶(H23年度産)	24.5	29.9	54.4	6/25	82916	222
*6	静岡県静岡市清水区	はっさく	不検出	不検出	不検出	6/26	90000	499
	静岡県静岡市葵区昼居渡	製茶(新茶)	27.6	33.7	61.3	6/27	72122	240
	静岡県浜松市浜北区	有精卵	不検出	不検出	不検出	6/28	90000	621
	静岡県静岡市葵区相俣清沢	梅(水洗後果肉部分を測定)	不検出	不検出	不検出	6/28	18561	596
*7	群馬県利根郡昭和村	キャベツ(2回水洗)	不検出	不検出	不検出	6/30	74637	260
*8	群馬県利根郡昭和村	キャベツ(無洗)	不検出	不検出	不検出	7/3	80321	258
	群馬県高崎市	キャベツ(2回水洗)	不検出	不検出	不検出	7/1	89561	208
	静岡県清水区	生しいたけ	不検出	不検出	不検出	7/2	67736	479
*9	静岡県御前崎市	製茶(やぶ北一番)	55.0	68.0	123.0	7/4	86807	242
*10	静岡県御前崎市	製茶(煎茶)	59.0	72.0	131.0	7/5	89284	252
*11	静岡県焼津市	魚肉練り製品(黒はんぺん)	不検出	不検出	不検出	7/6	65054	504
	静岡県静岡市葵区	わさび漬(静岡産わさび)	不検出	不検出	不検出	7/7	76728	787
	静岡県静岡市葵区	わさびのり(静岡産わさび)	不検出	不検出	不検出	7/8	88283	815
*12	静岡県藤枝市	棒茶・飲用茶	不検出	不検出	不検出	7/10	87684	585
*13	静岡県藤枝市	深蒸し茶・飲用茶	不検出	不検出	不検出	7/11	86199	624

(容量 500ml)

## ■ 測定についての補足

### \*1と\*2

同一茶畑の茶。放射能を流せるかどうか試みるため、茶摘みの前に葉に散水しなかった茶葉\*1と、散水をした茶葉\*2を比較測定。

測定値からは、摘む前に葉を水で流す方が、汚染が少ないという結果になっていますが、散水する木と散水しない木そのものの汚染が同じではないので、この1回の比較では散水の効果について、断定はできませんが、1つの試みでした。

### \*3と\*4

同一茶園の昨年度産\*3と事故後の新茶\*4のデータです。

\*5 放牧飼育で、牧草を食べて育っている牛の乳

\*6 八朔は外皮とほろをむいて、食べる状態にして測定。

### \*7と\*8

同じキャベツの葉を、洗ったもの\*7と洗わなかったもの\*8 (測定前の準備)



### \*9と\*10

\*1、\*2と同じ茶園の製茶。

茶の製法の違いで汚染の度合いをみたいとの要望で測りました。

\*11 原料は小樽の鯛と静岡産の鰯。

### \*12と\*13

飲用茶にして測定したいとの依頼で、茶葉 3g × 5人分 = 15gに、60～70度に冷ました湯 150ml × 5 = 750mlを注ぎ、1分待って入れた一煎目のお茶を測定。

## ■ 全国の食品の放射能検査の結果

農林水産省/厚生労働省が全国で放射能検査をした結果をインターネットで公開しています。

静岡県内で事故から6月23日にまでに測定された試料は、132検体。そのほとんどが、茶葉、飲料茶、生茶などです。(http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001eyt4-att/2r9852000001eyx6.xls)で全品の結果を見ることが出来ます。

お茶の汚染のニュースが何度も報道されていますので、一般的に『お茶は危険』というイメージを持っていますが、当測定室でも2検体のお茶を飲用にして測定し、2検体共に『検出限界以下』不検出となりました。同様に上記のHP上に、飲用茶の測定結果が何検体も掲載されていますが、いずれも不検出～5Bqという値になっています。

県別の測定結果は、測定をしている全国21県の測定結果を(http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001cet8-att/2r9852000001cexa.pdf)で閲覧できます。

福島県下では、事故から3か月間に2553検体が測定され、いわな、やまめ、あゆ、ひらめ、しらすなど測定した魚全てから放射能が高い値100～800Bqが検出されています。また、しいたけ、ブロッコリー、小松菜など、3月11日の時点で畑に在った葉物野菜に汚染がみられます。

福島県内では3月31日から放射能が検出される原乳が始めました。しかし、原乳の汚染は検査試料の10%程度に見られるにとどまり、原乳全てが汚染している訳ではありませんでした。

どんな食品が汚染しやすいかを知る事は出来ませんが、あくまでも産地、育てられ方などが汚染を左右しますので、やはり食べる物を自らが測定して、安全を知る事は大切だと思います。

## ■ 測定開始から1か月

福島原発の事故直後、過酷な『原発からの放射能漏れ』に愕然として身動きが取れない恐怖を感じましたが、それでも静岡に住む私たちは『浜岡原発の運転を止めなければ!』と走り出し、放射能汚染を測定する機器を持っていく事すら忘れるほど、夢中で動きまわりました。そして、『浜岡原発すべての運転を中止するように』という総理大臣の勧告が出て、暫定的であっても、とりあえず、『浜岡原発』は停止。

そこで初めて、私たちにできる事は、少しでも内部被曝を少なくするために、食品の放射能汚染測定を行い、情報の提供、共有する事だと思いました。

5月下旬から、一緒に食べ物を測定する活動をして下さる方を募集し始め、測定器を再構築し、6月8日より測定器を起動することが出来ました。

現在、会員数は106名 (7月14日現在)

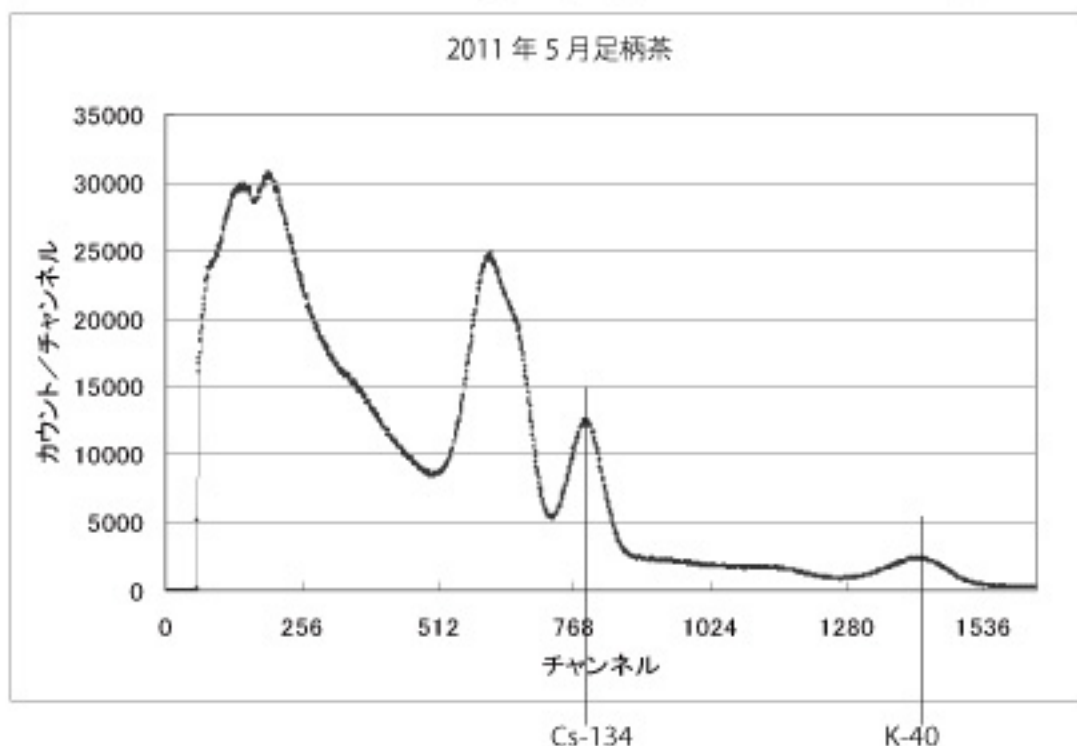
測定器の再構築にかかった費用約90万円を完済することが出来ました。皆さんのお力添えに、心から感謝いたします。

走り出しながらの測定活動ですが、解析作業などはアドバイザーの河野益近さんの多大なる協力の賜物で継続しています。

これ以後は、会員の皆さんの提案や要望を伺いながら、測定活動をより順調にできるようにしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



### 問3 測定結果報告書のグラフの縦軸、横軸の意味は何を表していますか？



### 答3 縦軸は検出器に入ってくるガンマ線の数(放射線の量)を表わしています。

LOG(ログ、指数)表示の場合は、1, 10, 100, 1000 というように目盛りが打ってあります。LINER(リニア、等倍)表示の場合は、例えば1, 2, 3, 4, …10(100, 200, 300, 400…1000) というように目盛りが打ってあります。

### 横軸はガンマ線のエネルギー(放射線の強さ)を表わしています。

例えばCs-134(795.85keV)が試料に入っている場合、  
①横軸の795.85keVのエネルギーに相当する部分である750チャンネル付近にCs-134のガンマ線がNaIで電気信号に変えられて1個、2個というふうに加算されていきます。ただNaIという検出器の性能上、Cs-134の795.85keVのエネルギーのガンマ線全てが750チャンネルに加算されるわけではなく、750チャンネル付近に分散されるので測定されたCs-134の山があまりシャープなものになりません。

②750チャンネル付近に加算される放射線は、Cs-134のガンマ線だけではありません。遮蔽体の鉛に含まれる天然の放射性核種(元素)や遮蔽体の周辺にあるカリウム(K-40)、特に試料に含まれるK-40からの放射線の影響もあります。K-40は1460.8keVでCs-134の795.85KeVとは離れているではないか、実際に表(スペクトル)でも山が分かれているではないかとお思いかもしれませんが、山になるのはNaIの検出器の中でCs-134、K-40が持っている全てのエネルギーを失った場合だけなのです。

③こんな場合をイメージしてください。何人が(Cs-134の放射線)がそれぞれ795円のお小遣いを持って緑日の屋台(NaI)に出かけたとします。ある人(放射線)が795円を使い果たしたとします。そうすると、緑日の屋台(NaI)には795円が入ります。これをレジ(パソコン)に入れると、795円を使った人が1人というふうに加算されます。でも屋台のおじさんがあわて者で、小銭をレジの回りに落としたり、拾った小銭といっしょにレジに入れたりするので795円を使った人でも794円になったり、796円になったりします。一方で、あまりお金を使わない人もいるので、屋台には795円より少ないお金がレジには入ります。いろいろな趣味を持った人もいるでしょうから、その趣味の品物の金額付近にお金分散されます。お金を使わない人も当然います。でも使った金額で一番はっきりと分る金額は全額(795円)でしょう。Cs-134(795.85794.85keV)の効率というのは、この795円を使った人の数を数えて、795円のお金を持って緑日へ出かけた人を推定するのに必要なもので、事前に調べておく必要があります。でも、700円を使った人を調べて、同じように緑日へ出かけた人を推定してもいいのではないかと…、という疑問も当然起ります。でも考えてみてください、緑日へは795円を持って行く人だけではなく、1460円(K-40, 1460.8keV)以て行く人もいるし、屋台のお兄さん(自然放射線)だっています。700円より多く持って来ている人の中には700円だけ使う人だっているはず。それは600円かもしれないし、500円かもしれない。所持金よりも低い金額を使う人はどんどん現れます。だから795円を持っていった人の数を700円使った人から推定するのはかなり困難になります。

# 静岡放射能汚染測定室のガイドライン

すでにHPには掲載していますが、会員の皆さんに『当測定室のガイドライン』をお届けします。

## ■ 測定したデータは、会員に向けて公開します ご了解ください

ただし、個別の生産者名は明記せず、食品名、生産地、製造・収穫年月日（賞味期限）など取得できる情報を表記し、測定値を会員通信にて公開します。

測定依頼者へのデータ等の守秘義務をお求めの方は、公的な測定機関へご依頼ください。私たちの活動は、放射能汚染の現状について、関心を持つ会員の方々と情報を共有し、健やかな命を未来へつなぐ暮らし方、食べ方の知恵を見出していく事を目的にしていますので、データの共有を最も大切な活動目的にしています。

## ■ 測定限界値、検出値の精度について

所有の測定器の検出限界は、おおよそ3 Bq/kg です。それより微量の放射性物質は正確な値を解析する事は出来ません。

検出値は3 Bq/kg以上の値の表示となります。(表1、図1参照) データの精度については、支援して下さる大学のゲルマニウム半導体検出器で測定した標準物質を使用し、検出値にぶれがないか確かめていますので、食品の安全性に関するデータとして十分に現状を理解する事ができると考えます。以下に、当測定室アドバイザー河野益近さんが解析して下さった検出限界と測定時間について、グラフを掲載します。(この計算は検体重量が260gの場合ですので、検体容量を大きくすれば、測定時間、検出限界は変化します)

表1

Time	BKG Lever	3 $\sigma$	3 $\sigma$ (cps)	検出限界 at 260g (Bq/kg)
80000	650165	2419	0.030	6
70000	568895	2263	0.032	6
60000	487624	2095	0.035	7
50000	406353	1912	0.038	7
40000	325083	1710	0.043	8
30000	243812	1481	0.049	9
20000	162541	1209	0.060	11
10000	81271	855	0.086	16
9000	73144	811	0.090	17
8000	65017	765	0.096	18
7000	56889	716	0.102	19
6000	48762	662	0.110	21
5000	40635	605	0.121	23
4000	32508	541	0.135	26
3000	24381	468	0.156	30
2000	16254	382	0.191	36
1000	8127	270	0.270	51

## ■ 測定時間について

下記の表のように、検出値を出来る限り小さな値まで測定するため、現在19時間以上(約70000秒以上)測定しています。より多くの検体を測定するためには、検体容量を大きくする事で、測定時間を短くすることが出来ます。当測定室は、現在、プラムフィールドの無償ボランティア・スタッフによって測定作業を進めていますので、スタッフが作業に慣れ、会員の皆さんからの測定依頼が多く続く場合は、測定検体容量を変更するなどして対応をしていこうと考えています。



## ■ 母乳の測定に関して

他の測定機関で、すでに母乳を測定し、公表されている値(参考:母乳調査・母子支援ネットワークHP・6月23日時点)を見ますと、福島在住の方も含め、約80%の母乳が2~5 Bq/kgの値になっています。この事から推測しますと、測定を依頼していただいた場合、測定は可能ですが、検出限界以下という事も考えられます。

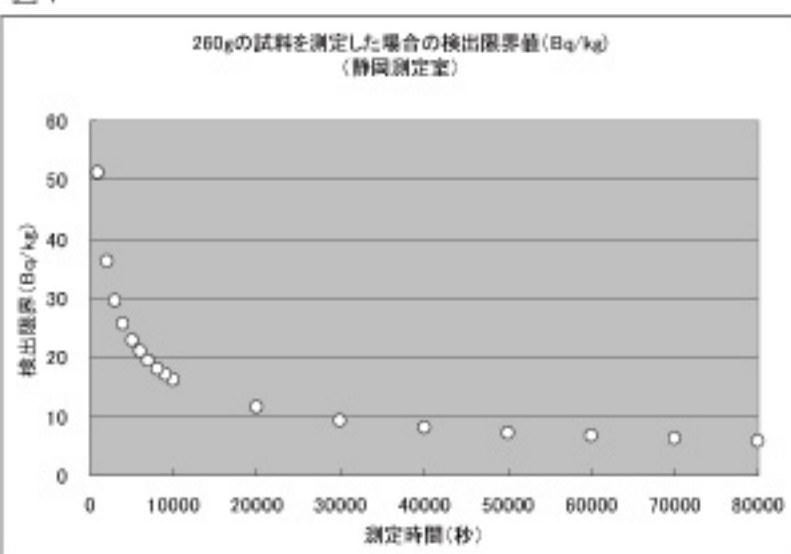
正確な値を期待されている場合は、ゲルマニウム半導体検出器で測定している分析センターなどに依頼されることをお勧めします。

検出限界値について了解いただき、なお、測定を希望される場合は、会員の方に限り測定をさせていただきます。

## ■ 食べもの以外の測定について

測定品は、当面、食べものに限定させていただきます。耕作地、家庭菜園の土の測定を希望される方から、多くの問い合わせを頂いていますが、食べ物の測定依頼が多くあるため、優先事項として食べものの現状をまず、知りたいと思います。今後、測定の依頼が落ち着いてきた場合、環境物質の測定も検討したいと思います。

図1



検出限界(1kg換算)を下げる(低いところまで測る)ためには、時間よりも容器にたくさんの試料を詰めるのが一番です。大きな容器を用意するのも一つの手です。

容器に強引に詰め込むという方法もあります。

## 放射能情報・ミニメモ帳

当測定室にも空気中の放射線量について「静岡は今、安全なんでしょうか?」とか、「食品〇〇はどのくらいの汚染をしているか分かりますか?」という問い合わせを頂くことが少なくありません。

23年前であれば、測定器を持っている人や食品の測定をしている機関や団体でしか分からなかった情報が、現在はインターネットという情報公開ツールによって、いつもで公開されている情報を得る事が出来るようになってきました。たとえば、放射能汚染状況について★「全国の放射能濃度一覧表」は (<http://atmc.jp/>) で見る事が出来ます。

インターネットを使っていない方のために、測定状況をメモしますと、7月15日の時点で、測定されている場所で最も放射能が高い地点は、

福島県(双葉郡) 1.310  $\mu\text{Sv/h}$  (超過 18.45 倍)

7/09	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15
1.316	1.304	1.311	1.310	1.320	1.320	1.310

2. 山口県(山口市) 0.095  $\mu\text{Sv/h}$  (平常 0.74 倍)

7/09	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15
0.092	0.092	0.094	0.092	0.094	0.094	0.095

3. 茨城県(水戸市) 0.089  $\mu\text{Sv/h}$  (超過 1.99 倍)

7/09	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15
0.091	0.090	0.090	0.089	0.089	0.090	0.089

となっています。もちろん、この放射線量は日々、変化しますので、このデータで汚染状況を確定する事は出来ませんが、汚染の状況は日変化を表示してありますので、データを見れば、自分自身が住んでいる県の様子を推定できます。

また、★食品中の放射性物質による汚染状況は「厚生労働省(食品中の放射性物質の検査結果)

[http://www.maff.go.jp/noutiku\\_eikyo/mhlw3.html](http://www.maff.go.jp/noutiku_eikyo/mhlw3.html) で見る事が出来ます。福島県内の食品の汚染が如何に過酷な物であるか、このHPの「これまでの検査結果(産地別)」全頁126頁(2011.7.15時点)で知る事が出来ます。

知りたいことがちょっとした努力で知ることが時代になりました。

### ■ 測定の申し込みについて

測定は予約制です。測定品をお持ちいただく前に予約をしてください。

詳細は測定依頼申込書をご覧ください。HP上からダウンロードできます。インターネットの環境が無い方は測定室にご連絡ください。測定依頼申込書をお送りいたします。

### ■ 検体の量について

測定品は 容量で 500ml 用意ください。  
重量ではなく、測定容器(500ml)満杯容量が必要です。  
お茶の場合、約 300g です。  
500ml 以下の場合、測定精度が落ち、正確な測定値が出ませんので追加のご連絡、あるいは測定を中止させていただく場合があります。ご協力ください。

### ■ 検体の鮮度について

測定品は特に鮮度は問いません。  
腐敗しても、放射能含有量は変わりません。お送りいただく場合は、クール宅急便でお送りいただく必要はありませんが、腐敗が進むものについては、予定測定日前日に合わせてお送りくださるようお願いします。

### ■ 測定品のお返しについて

固形物の場合、粉碎して測定容器に詰めますので、現姿での返却は出来ません。

測定品の返却を希望される場合、固形食品の形でなくなっている事をご了承ください。返却希望にはお応えします。

### ■ 汚染が高いものの取り扱いについて

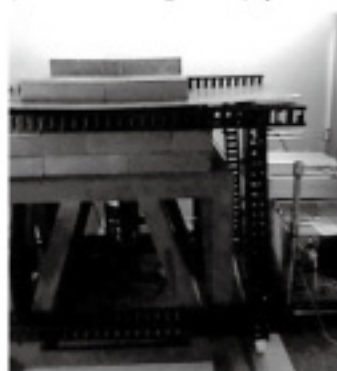
測定品の汚染が非常に高い場合は、お断りすることがあります。

測定スタッフの安全(外部被ばくを防ぐ)のため、受け取って簡易線量計で測定し、線量が高い場合は、測定せず、そのままお返しします。その場合は、測定料はお返しし、返送料は当室で負担させていただきます。ご了承ください。

### ■ 食品の測定値から、安全性の判断について

多くの食品の測定データを見る事によって、汚染された食べ物の傾向を知る事は出来ますが、当測定室では食べるか否かの安全性の判断をする能力はありません。

皆さんと情報を交換し、意見を寄せ合い、放射能がどの様な振る舞いをするのか、知っていきたいと思います。



(当室の測定器)⇒

報告

(測定室会員 東山浩子記)

映画「100,000年後の安全」感想

原子炉4基のフィンランド巨大処分場、オンカロ(フィンランド語で“隠れ場所”)の建設が始まっている。一方、地震国で国土も狭い日本は、処分方法を先送りにしたまま今日に至る。

フィンランドの12倍の原子炉を持つ我が国が、高レベル廃棄物処理を地層処分とするなら、それをいくつ必要とするだろう。

核のゴミが無害になるのに10万年を要する。「放射性のパンドラの箱を開けるな！」

未来の生物にその危険さを伝えることができるのだろうか。もとより、建造物は持ち堪えられるのだろうか。この建設中も、議論は堂々巡り、答えは出ない。(ああ、原子の火を使う前のフィクションであったなら。)

たった今、日本が脱原発してもそれから逃れられない。子どもたちのために、誰もがこの重い現実に向かい合わねば、人間の五感では感知できない「危険」な火がそこかしこにあるのだから。

河野益近さんのアフタートーク

『なぜ、放射能汚染測定なのか?』

まとめ

(ナビゲーターは馬場利子さん「静岡放射能汚染測定室」)

河野さんは、京都大学工学部において、暖かい窓際で読書三昧(本人談)。

学生時代のおよそ35年前、原発から出ている放射性物質を測ろうと「松葉」(に含まれる放射能)をテーマに調査開始。測定する理由は、

- ・空気だと一瞬、植物だと通年調べられる、原発周辺に存在。
- ・過去の汚染状況を記録できる。
- ・全国調査から、放射能汚染状況が見える。

しかし、計画後に中国の大気圏内核実験で全国汚染されてしまったので、その汚染分布地図を作成。その後、チェルノブイリ事故でも、全国の汚染地図を作成。現在は、福島原発事故の全国汚染地図を作成中。-「kohnoのブログ」  
<http://kohno.at.webry.info/theme/d1b392890c.html>

・静岡は、25年前のチェルノブイリとほぼ同じレベル(当時は日本全体がそのレベルで汚染されていた)。

大雑把に全国の汚染状況をイメージすると、西日本は当時の1/10以下、福島は数千倍から1万倍以上高い。

〈食品をはかるのをやめた理由〉

以前、福島の漁協から、ホッキ貝を測ってほしいと頼まれ調査に参加した。コバルト60(原発由来)を検出。発表すると、その漁協(原発から遠い)の海産物が売れなくなった。仲買に買い叩かれ、高い値段で東京で売られた。



誰にも保障できない10万年後の安全。放射性廃棄物の埋蔵をめぐって、未来の地球の安全を問うドキュメンタリー。

毎日、世界中のいたるところで原子力発電所から出される大量の高レベル放射性廃棄物が暫定的な集積場に蓄えられていく。その集積場は自然災害、人災、および地震時発生した影響を受けやすいから、廃棄物がいつ方法が廃棄されるか、フィンランドのオンカロなどでは地層中の高レベル放射性廃棄物の永久地層処分場の建設が決定し、既に建設中である地下貯蔵場の建設も計画されている。

正統的な映像美！コンセプトアルバム・アーティスト、マイケル・マドセン監督作品。

コンセプトアルバム・アーティストとしても活躍する映像のマイケル・マドセン監督が、既に建設が進行中の集積場に侵入し、20年ぶりに放射能測定した専門家に、未来の地球の安全性について問う。放射能の危険性をめぐって30年間のよう、危険し人災がもたらす危険、建設の遅延と建設中の集積場の危険性を問う。



10万年を待たせられるように設計されるという、集積場が一定量に達すると放射能は封鎖され、二度と開けられないことはない。しかし、誰がそれを保証できるのだろうか。10年後、そこに暮らす人々に、高レベル放射性廃棄物を貯蔵する必要があるだろうか。暮らしを営む私たちの時代の遺産や夢、希望が埋められている場所だと感じさせない。そもそも、未来の暮らしが果たしてどの程度まで理解できるのだろうか。

未来のふしぎな場所へ

ここは21世紀に完成された放射性廃棄物の埋蔵場所です。決して入れないでください。

あなたを守るため、放射能測定の機器を設置しました。

放射能測定は大変危険です。測定時、絶対に近づかないでください。

地上に戻って、遠くより高い放射能が降り注いでいます。

中野 浩子

『100,000年後の安全』先行上映会 & 『なぜ、放射能汚染測定なのか?』

講師 河野益近氏 京都大学工学部研究科原子核工学 静岡放射能汚染測定室アドバイザー  
開催協力者・協力団体を募集します。詳細は下記までお問い合わせ下さい。  
主催・お問い合わせ：プラムフィールド (TEL FAX:054-208-2021)

漁協の損失は数億円。それ以来、食べ物は極力測らないで、陸は松葉、海はホンダワラを測る。

松葉から出れば、野菜にも出ているだろうなど想像力のある人は思ってくれる。ホンダワラだったら、ワカメにも出ているだろうなど。⇒みなさん、想像力を持ってください！

### 〈福島県の放射性セシウムによる汚染地図〉

[http://kohno.at.webry.info/201106/article\\_19.html](http://kohno.at.webry.info/201106/article_19.html)

(朝日新聞 2011年5月7日朝刊)

地図によると、福島県の原因から80km圏内のほぼ全てが、放射線管理を要する地域(37,000~185,000 Bq/m<sup>2</sup>: 定期健康診断とそこで取れる農作物の汚染検査)、かなりの面積が希望すれば移住できる地域(185,000~555,000 Bq/m<sup>2</sup>: 定期健康診断ときれいな食べ物を域外からの持込、居住地・農地の除染)や移住を要する地域(555,000~1,480,000 Bq/m<sup>2</sup>)、強制移住の地域(1,480,000 Bq/m<sup>2</sup>以上)(旧ソの基準)になっている。

自分の住んでいる町、山、川が全部汚染されている。私が想像する地獄だけれども、人が住んでいる。私は何もすることができない。やれるのは国だけ。だが国は何もしない。会場からの問い「国が発表するデータは本当でしょうか？」

に対して**〈国は嘘をつかないが隠す 東電は嘘をつく〉**

(by 河野)

### 〈農作物〉

- ・内部被曝は、外部被曝より圧倒的にきいてくる。
- ・旧ソ連の基準では、1㎡当たり、37,000ベクレルを超えたところでとれる食べ物を現地で消費する場合は、放射線チェックした。
- ・3月15日、多くの放射性物質が拡散したので、それ以前から生育していたものは基本的に取り入れない方がよい。空气中を漂った濃度の高いガス状の放射性物質が、植物の呼吸を通して内部に取り込まれたり付着したりしている。境は汚染の一番強かった日(3月15日)。食べ物が汚染する過程を想像し、個人が判断する。3月15日後、作付けされたものは、風で舞い上がったほこりが付着。洗えば落ちる可能性が高い。根から吸収されたものは対処の仕様がなし。精すと表面にある汚染物質をすきこむため、根から吸収。
- ・「お米」ストロンチウム90は胚にたまりやすい。玄米菜食のかたは西の米を。子どもと、子どもを産み育てる世代は極力控えて。それ以外の人は自分の判断で。私は選択の余地がなければ食べる。(若い人はダメ)
- ・「お茶」極力、葉は刈って、別のところへ。来年はかなりレベルが下がるはず。汚染した葉が残っていると、葉を刈るときに古い葉(汚染している)も一緒に刈ってしまうかもしれない。刈った葉を木の近くへ放置すると、汚染した腐葉土となってしまう。
- ・「野菜」(3月15日以前から生育しているものは全部汚染していると思って)収穫して、別のところへ。畑に働きこむとより多くの放射線を畑に残すことになる。
- ・農産物の汚染はこれからぐっと減るが、低いレベルで長く続く。
- ・土壌汚染のひどいところは、土地改良をしないとイケない。

### 〈海産物〉

・汚染は、これから始まる。海底の土に放射性物質がたまっていく。生物濃縮が進んでいく可能性がある。ただし、海水中の放射能はどんどん薄まってゆく。しかし、高濃度海水が大量に漏れたときは想像がつかない。



### 〈高レベル廃棄物〉

何も決まっていない。

基本的には人の目に触れるところで管理する。

### 〈原子力〉

飛行機事故の被害=落ちた人、落ちた場所で収まる  
原発事故の被害=起こった場所、時点だけですまない  
事故が起こったらどうにもならない⇒最初からやらない

### 〈暫定基準値〉

- ・国の食べ物が500ベクレル、499ベクレルは基準値以下として公表せずに販売できる。
- ・他の国ではどうなっているか、日本の基準がいかにかにひどいか調べて。<http://kingo999.web.fc2.com/kizyun.html>

### 〈静岡放射能汚染測定室〉

市民が、今、食べ物にどのように放射能が入っているか共有する活動として意味がある。

放射性物質を見えるように共有しよう！想いを話そう！  
(7/21『放射能を話そう』企画あり)

### 〈イタリアの脱原発〉

チェルノブイリで、自分たちの農産物が汚染し、輸出がストップ。

イタリアは、植物(スパゲッティ用デュラム小麦)への汚染で国民が学んだ。国民が、原子力を利用するエネルギーと命は共存できないと判断した。



### 〈私たちができること・これから〉

—河野—

- ・市民が測定器を持って、福島へ行き詳細な汚染地図を作る。(まず静岡からはじめては?)
- ・「サマーキャンプ」高レベルのところに住んでいる子どもたちを汚染から離し、2~3週間過ごしてもらおう。汚染されていない食べ物で体内放射能が減る。

—馬場—

- ・高レベル廃棄物の問題以前に、こんなものを出していく原子力エネルギーを使い続けていくのか?食物汚染、お茶の輸出も差し止め・私たちは、これからどう未来を創っていくか。今回の出来事を教訓として、選択できたら!その一つとして、想いを言葉で共有することが大事。チェルノブイリで、私たちの世代が動いた。今、福島から転換していくのが若い人たち。この経験をもとにして、いかに社会を変えていくか。みんなでサポートしていきます。一緒に!



## ■ 『心と心が通う場～測定室での出来事～』 (報告 馬場)

7月3日(日)、『10万年後の安全』上映後、河野益近さんのアフタートークの際、参加者からの質問に答えていただいたのですが、その中で、若いお母さんからの質問への返答について、後日、河野さんから、この様なメールを頂きました。

「～略～  
後悔していることが一つあります。  
映画会の当日の昼に来てくれたお母さんに的確なアドバイスができなかったこと。  
私が父親だったら・・、という気持ちで答えていれば、もっと彼女に安心感を与えられたのではないかと悔やんでいます。  
今、相談を受け付ける場を作りたいと考えています。何かいいアイデアがあればお教えてください。」

私も若いお母さんからの質問はとても心に残っていました。

「三島に住んでいます。幼い子を持っていますので、移住を考えています。小田原も汚染していますから～略～三島も汚染していますか？」

という質問に  
「お茶も高い汚染をしているのですから、そこから考えると移住できる環境にあればそうした方が良い・・」  
というようなシンプルな回答でした。

質問者は、それでも心配や不安を解消できないようで、トーク終了後、楽屋に河野さんを訪ねて何かお話をされていました。

私は河野さんからいただいたメールに  
このようにお返事をしました。



『先日の若いお母さんの質問は決して、彼女だけの問いではなく、同じように悩んだり、迷ったりしている人が居ると思います。そこで、こうしたらどうでしょうか？』

測定室だよりに、『質問のお答え、追伸』として、今、河野さんが彼女に届けたい『アドバイス』を書いていただけますか？

いただいた文章は、『7月3日の映画上映会とトーク』の報告コーナーと一緒に掲載するように編集をします。  
きっと、彼女もどんなにか喜ぶか知れません。』

この提案に応じて、河野さんが寄せて下さった手紙を掲載させていただきます。

蛇足ですが、午前の部のトークに参加して下さった人はご存じですが、河野さんはお子さんはいらっしゃらないので、この手紙は質問をして下さった三島の女性、ひいては全ての子育て中の女性への手紙であることを補足させていただきます。

### 静岡に住む娘へ

電話での様子、お母さんから聞きました。お父さんはいつでも帰って来ればいいと思います。

ちょうど25年前、お母さんがお前を生んだとき、チェルノブイリという原子力発電所が事故を起こしました。

日本中が放射能に汚染され、誰もその状況を通れることは出来ませんでした。

静岡でもお茶の放射能汚染が問題になり、農薬を使わないでがんばっていた農家の方がかなり苦労されたと記憶しています。

お母さんの母乳から放射性物質(ヨウ素-131)が検出されました。

お母さんは悩んだ末、しばらくは粉ミルクに変えました。でも一月を過ぎた頃から、お前のことを考えて母乳に戻しました。

でも、その間に、食べものに気をつけ、自分の体から放射能を追い出す努力をしていましたよ。

でも当時は日本中が汚染していたので、とても大変だったと記憶しています。

環境が汚染したときに生育していた野菜類は極力控えました。事故後に作付けされたものは、がんばっている農家の野菜を買っていましたよ。

顔の見える人の作るものが一番健康に良いのかもしれませんが、

そのころ、浜松に放射能汚染測定室というのが出来ました。今は静岡にあると聞きます。

食べ物についてはそこに相談するのがよいかもしれません。

今、静岡の汚染は、チェルノブイリの原発事故によって日本が汚染したときのレベルになっています。

お前は、25年前のお母さんと同じような立場にいるのですね。でも、少しでも努力すれば、静岡にいても、子どもはお前のように元気に育ってくれるはずですよ。

同い年のいとこの純も元気にしているでしょう。私の妹はお母さんほど気をつけなかったけれど、お父さんが当時放射能を測っていたので、放射能が危険なことは知っていたはずですよ。

きっと少しは食べ物に気をつけていたでしょう。純の性格が悪いのは放射能のせいかもしれない・・、もちろん冗談ですが。

そうそう、近くの人と相談して、野菜の共同購入をしたらどうかな、九州とか中国・四国、関西、愛知、長野、岐阜、日本海側(富山・石川・新潟、山形、秋田、青森)、北海道などの真面目な農家から直接野菜を買うとよいかもしれません。

食べる量の全量ではなくても、努力はしてみたらどうかな。もう一度言うけど、いつでも帰っておいで。

2011年7月 京都の父より

■河野さんはチェルノブイリ原発事故の際も放射能を測定し、その経験やデータをお持ちの方です。

何かご質問のある方は、測定室にお寄せください。

頂いた質問は、河野さんのお知恵を借りて可能な限り速やかにお答えします。また内容については、了解が得られた範囲において、HP等に掲載していきます。

# 市民自ら放射能測定

家族の食の安全などを守るため、自ら放射性物質を測定しようと静岡市内の主婦らでつくる市民団体「ブラムフィールド」(同市葵区安東1丁目)が「静岡放射能汚染測定室」を開設し、会員らの依頼に応じて食品などの放射性物質の測定をしている。

## 静岡の団体 原発事故で活動再開

測定室では、会員から集めた寄付などで購入した測定器(NAIシンチレーションカウンター)で、放射性物質のヨウ素131とセシウム137を測定。1検体につき最長24時間をかけ、1プログラム当たり3分まで検出できる。

測定器は、同団体代表の

## 暮らし経済



馬場利子さん(同区)が1986年のチェルノブイリ



再稼働させた放射性物質の測定器について話す馬場利子さん(静岡放射能測定室)

原子力発電所の事故後、放射性物質に汚染された輸入食品を子どもたちに食べさせたくない、有志らと共同購入。88年、当時住んでいた浜松市内に測定室を開設し、約10年間測定を続けましたが、ほとんど検出されなくなり休止していた。

しかし、福島第一原発の事故の影響で、食品などから放射性物質の検出が相次いでいるため、測定器を修理して活動を再開した。全国で70人以上が会員になった。

馬場さんは「放射性物質の汚染を心配しなければならなくなったことは本当に残念。でも、原発の事故が起きた以上、市民の立場でも汚染の実態を調べ、測定結果を会員と共有したい」と話している。

- 5/19(木) プラムフィールドにて「測定室」併設提案、了承
- 5/31(火) 理事会(仮)開催
- 6/1(水) 会員募集開始
- 6/8(水) 測定機器試動開始
- 6/11(土) 依頼品の測定開始
- 6/13(月) 毎日新聞取材(\*1)
- 6/20(月) 朝日新聞取材(\*2)
- 6/21(火) SBS ラジオ出演
- 7/3(日) 『100,000年後の安全』上映会 & アフタートーク開催(報告記参照)
- 7/7(木) 測定室来訪者(浜松より4名) NHK取材
- 7/8(金) NHK静岡『たっぷり静岡』で放映(測定室HPにて視聴可)
- 7/11(月) NHK静岡『おはよう静岡』で放映
- 7/11~18 『測定室だより』創刊号編集

※(\*1) 毎日新聞 2011年6月14日 朝刊23面掲載

毎日新聞

## 静岡の市民団体・食品放射線量の測定



静岡市葵区に拠る市民団体「ブラムフィールド」が、原発事故後、自ら放射性物質を測定する市民団体「ブラムフィールド」が、静岡市内の主婦らでつくる市民団体「ブラムフィールド」が、静岡放射能測定室を開設し、会員らの依頼に応じて食品などの放射性物質の測定をしている。

## 全国から依頼受け情報共有へ

測定室では、会員から集めた寄付などで購入した測定器(NAIシンチレーションカウンター)で、放射性物質のヨウ素131とセシウム137を測定。1検体につき最長24時間をかけ、1プログラム当たり3分まで検出できる。

# 安全は自分で確認したい

(\*2) 朝日新聞 2011年6月29日 掲載

(\*1) 毎日新聞 2011年6月14日 朝刊23面掲載

# 第1回 放射能を話そう♪!

放射能汚染測定室主催

日時：7月21日(木) 13:00～14:30

場所：測定室事務局(プラムフィールド)

参加費：測定室会員 300円・一般 500円  
(お茶付)

放射能汚染測定室は、プラムフィールドに測定器を移転し、6月11日より食品の測定を開始しました。関心を持つ人々からの測定依頼が、毎日のように続いています。食品1品を測定し、その結果を入手するだけでは、放射能がどの様に食べ物に含まれていくか知ることは出来ません。

私たち市民が測定するメリットは、測定した全データを共有することで、多くの食べ物の汚染状況を知り、測定値を1つの視点として放射能について、推察したり、考えたりしていただける事です。

不安や疑問を分かち合い、分からない事を質問し合ったり、疑問を解決する方法を一緒に探すことも、健やかに暮らすための大切な作業だと思います。

分からないからと言って、簡単に放り出してしまわず、ゆつくりと丁寧に、放射能とも話し合う気持ちの余裕を持って、お茶べりタイムをご一緒にどうぞ……。

## 『放射能を話そう♪! (放そう)』

次回は 8月30日(火)10:30～12:00の予定です。

小さな学習会も含めて、月1回、皆さんと意見交換が出来る場を創っていきたく考えています。

どうぞ、ご一緒にしてください。

## お知らせ

### 測定室8月の活動カレンダー

8月、プラムフィールドは夏休みをいただきます。測定室の活動は以下のように続けます。

OPEN 10:00～13:00

火	水	木	金
8/2	8/3	8/4	8/5
8/9	8/10	8/11	
8/16	8/17	8/18	8/19

8/22(月)より通常のOpenになります。

## プラムフィールドの窓

### 測定室の風

プラムフィールドに測定室を併設し、測定を再開しようという準備を進めている頃から、新しくボランティアに来て下さる人が自然に登場して、にぎわいが出てきました。

プラムフィールドはずっと無償ボランティアで運営してきましたが、コアスタッフは現在8名。全員女性です。そして測定室のサポーターは、数名の男性と多数の有能な女性の力を借りてフル回転をしています。

そんな活動の様子を、『スタッフのつぶやき』で紹介させていただきます。まずは、五十音順のトップ、伊藤さんをご紹介します。

「伊藤さんは、プラムフィールドの企画事業の準備万端になくはならない人です。その配慮力のお陰で、皆が安心して様々な企画を進める事ができます。少女のような真っ直ぐな心の感激屋さん。内緒ですが甘えん坊の可愛い人です」(馬場)

### 『スタッフのつぶやき』

トントン・ギューギュー・くちゅ……測定作業の第一段階「検体を容器に詰める」時の音。検体によりいろいろですが、すさまじく容器を満たすように、細かく刺んだり空気を抜くように詰めたり。丸い容器は真中が測定器にセットできるようくり抜かれているので、技と工夫が必要なドキドキの作業です。(伊藤)

